

しま高ホームページ
<http://www.shimanet.ed.jp/nima/>

しま高 Eメール
nima-01@shimanet.ed.jp



発行所
島根県立邇摩高等学校
松風会

〒699-2301
島根県大田市仁摩町仁万907
TEL 0854-88-2220
FAX 0854-88-4417

さて、本校が平成七年度に総合学科に生まれ変わって十五年になります。現在全校で九クラス、三二〇名の生徒が学んでおり、その中の九十九名の生徒が今春、卒業生として本校を巣立つてていきます。厳しい経済状況のため求人數は前年度より大きく減少しましたが、本校においては、就職希望者三十六名全員の内定が決まっています。進学希望者につきましても、指定校推薦入試、一

が合格を勝ち取り進学先を決定しています。これも先輩方が築かれた企業・学校との繋がりと、一人ひとりの生徒の努力、そして教職員のきめ細やかな指導のたまものと考えています。

次に生徒の活動状況について、あらましをご紹介いたします。

昨年五月二十三日、本校生徒会が社団法人日本善行会から「善行表彰」されました。受賞理由は「平成八年以来、海水浴場及び町内の清掃活動、独居高齢者及び高齢者施設への手紙送付、共同作業所活動に協力してアルミ缶の回収、市内福祉施設等各種行事へのボランティア活動などに取り組んでいる。」ということ

邇摩高校の近況報告

校長 梅瀨龍二



松風会会員の皆

先日の夜、中学
校の〇先生が奥さ
んと一緒に我が家に
来られ、酒を飲み
ながら昔の P.T.A
のことや、今の教育現場のことなどの
話をしました。彼は、二十六年前に荒
れた地元の中学校に赴任された教師で
す。当時、私は三人の子供が中学校で
お世話になつていて、私は六年間、P
T.A.の会長を務めました。大学卒業ま
もない若い体育教師や数学教師など、
個性の強い先生や生徒指導が苦手な先
生もおられたりして、それが渾然一体
の状態がありました。

○先生は次第に力をつけられて彼らをまとめ私達の子供もわだかまりが薄くなつて懷いていきました。元来、仁摩は相撲や柔道といった格闘技が昔から盛んで、部活動はこれらを中心にして活発になつていきました。三重県伊勢市で行われた相撲の全国大会、野球やテニスの県大会出場等々、子供の目の輝きも次第に増して、またそれに釣られるようにして親が学校に興味を持ち始めました。夜遅くまで練習を重ねたPTAバレーの県大会出場も出来て親と子供と地域が緊密になつていきました。私の長女も一年生から三年生まで全国中学水泳大会に出場できたこと

解か

二
九

松風会会長 原勝正

も私の気持ちをハイに支えてくれました。

立場になりました。これからも皆さまで一緒になって地域のリーダーを育てて活性しましょう」と。
まさに二度目の「邂逅」です。

「御縁」というものは不思議なもので、す。あの中学時代、小さくてなんとなく弱々しく、だけど「やんちゃ」であつた子供達が、最近私が地域の商工会の会長お世話ををするようになつて、ふと青年部に目を向けた時、彼らがそこで活躍していたのです。「なして、こんな子やちは、こがな悪るさをするかいのオ。」と頭をかかえた事もありました。が、目の前の青年達はキビキビとして、たくましく育っていました。私は感激をしてしまいました。

昨年の夏に行われた「仁摩ごいせ祭り」では、最後の挨拶で実行委員をして、彼らに言いました。「私はP.T.A.であるなの方のお世話をさせて頂きましたが、今はあなた方から教えてもらら

活性しましよう」と。
まさに二度目の「邂逅」です。
P.T.A.の取り持つ縁で頼まれ仲人と
して三組のカップルを誕生させられた
ことも、私の力強い味方になつてお
ります。そして、O先生がこうして今も
交流を続けて下さつてることが有り
難いと思います。これは、私達の掛け
えのない財産であります。熱気と情熱
でむせ返つっていた頃の親子の集まりを
兄弟のような気持ちで教え諭しても
らつた、かつての若くて個性的で熱か
た先生方に、限りない敬意と感謝の気
持ちを伝えたいと思つています。

この他にも、ここ数十年、上位入賞から遠かつた男子バスケットボール部の県選手権大会でのベスト8、野球部の秋季島根県大会ベスト8、吹奏楽部の全日本吹奏楽コンクール島根県大会高校小編成の部金賞受賞など、素晴らしい活躍が見られまし

た。団体での優勝は平成八年新人人大会以来のことであり、これにより三月二〇日から「大阪なみはやドーム」で行われる全国高等学校弓道選抜大会へ出場いたします。関西在住の皆様には応援をよろしくお願ひいたします。

く評価され、とてもうれしく思います。これを励みに一層ボランティア活動、福祉活動を活発にしていくたいと考えています。

たが、今はあなた方から教えてもらう
たが、あなた方にお世話をさせて頂きまし
ている彼らに言いました。「私はPTA
でございます。」

「御縁」というものは不思議なもので、す。あの中学時代、小さくてなんとなんく弱々しく、だけど「やんちゃ」であつた子供達が、最近私が地域の商工会のお世話ををするようになつて、ふと青年部に目を向けた時、彼らがそこで活躍していたのです。「なして、こんな子やちは、こがな悪るさをするかいのオ」と頭をかかえた事もありましたが、目の前の青年達はキビキビとして、たくましく育っていました。私は感激をしてしまいました。

昨年の夏に行われた「仁摩ごいせ祭り」では、最後の挨拶で実行委員をして

教職員一同 生徒達が安心して学び、部活動に打ち込める学校を目指して取り組む所存です。今後とも皆様方の変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また教科クラブの活動として農業クラブが全国大会茨城大会の農業鑑定競技会に、代表として二名が出席し、難問に挑戦しました。

校内の松風会員は、昭和四十六年卒の大島淳教頭、昭和五十二年卒の事務室の小島昭典さん、昭和五十四年卒の奥野和浩先生、そして昭和六十二年卒の森脇一正先生と僅か四年で三名が卒業しました。

